

「メトトレキサートの薬物相互作用と副作用に関する研究」について

現在、筑波大学附属病院薬剤部では、高用量のメトトレキサートを点滴で投与された患者さんを対象に、併用薬との薬物相互作用および副作用の調査研究を行っております。内容については、下記をご覧ください。この調査研究についてご質問等ございましたら、下記に記載しております【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

【研究の意義・目的】

メトトレキサートは様々な悪性腫瘍の治療に用いられる薬です。高用量で用いられることが多い薬ですが、高い血中濃度が続くと粘膜障害や腎機能障害などの副作用が発現しやすくなります。高い血中濃度が続く一因に併用薬との薬物相互作用が考えられます。この薬物相互作用については併用薬の影響やメカニズムなどが明らかになっていないものが多くあります。そこで我々はどのような併用薬がメトトレキサートの血中濃度にどの程度影響を及ぼすのか、あるいは併用することでどのような副作用が出現するのかを調査しています。

【研究の方法・取り扱うデータ】

年齢、性別、身長、体重、血圧、病名、既往歴、処方薬剤名及び用法用量、臨床検査値、および副作用と思われる症状などを診療録（カルテ）より調査し、メトトレキサートの副作用の発症要因や併用薬の影響について検討します。

【対象となる患者さん】

2002年1月1日から2022年3月31日、当院において1g/m²以上のメトトレキサート投与された患者さん

【個人情報保護の方法】

患者さんのデータの取り扱いは、第三者が直接患者さんを識別できないように、データ登録時に定めた登録番号を用いて行います。また、データはインターネットに接続されていないパソコン内に記録して、厳重な管理を行います。調査が中止・終了した場合、データは10年間保存した後に消去・廃棄いたします。

【保有する個人情報に関する利用目的・開示手続】

この研究から得られた結果は、学会や専門雑誌において発表されますが、いずれの場合にも、患者さんの住所、氏名、生年月日など個人を特定できる情報は一切公表されず、プライバシーは十分に守られます。

【研究参加の取りやめについて】

ご自身がこの研究の対象であるかを確認されたい場合は、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。対象となっている場合、お申し出によりいつでも対象から外れることが可能です。

【研究代表者】

筑波大学医学医療系・筑波大学附属病院薬剤部 本間 真人

【問い合わせ窓口】

研究担当者：金子 卓也（薬剤部・薬剤師）

連絡先：筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-896-7165（薬剤部調剤室、平日8：30～17：00）